

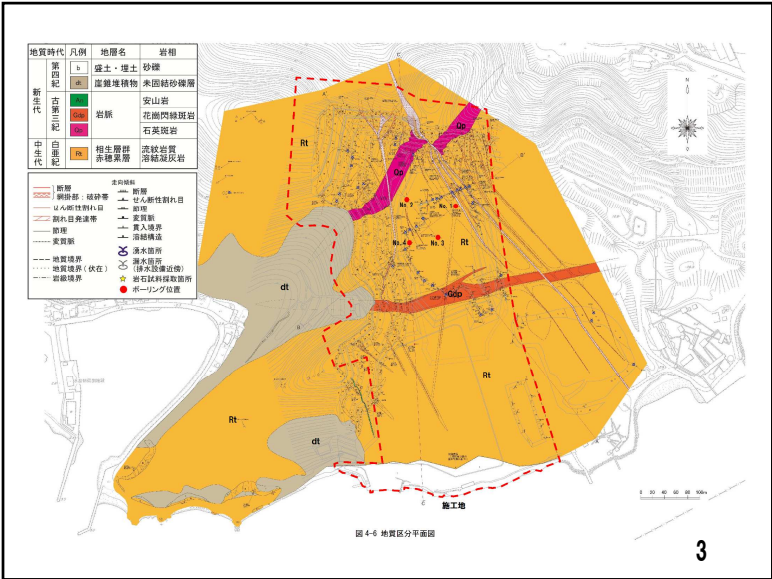
本事業に対する意見		
意見者数 (人)	意見数 (件)	備考
273	519	「産業廃棄物処理施設の設置に係る紛争の予防 と調整に関する条例」に基づく意見 平成25年10月11日～平成26年1月23日
27	67	追加で提出された意見 平成29年12月29日～

1

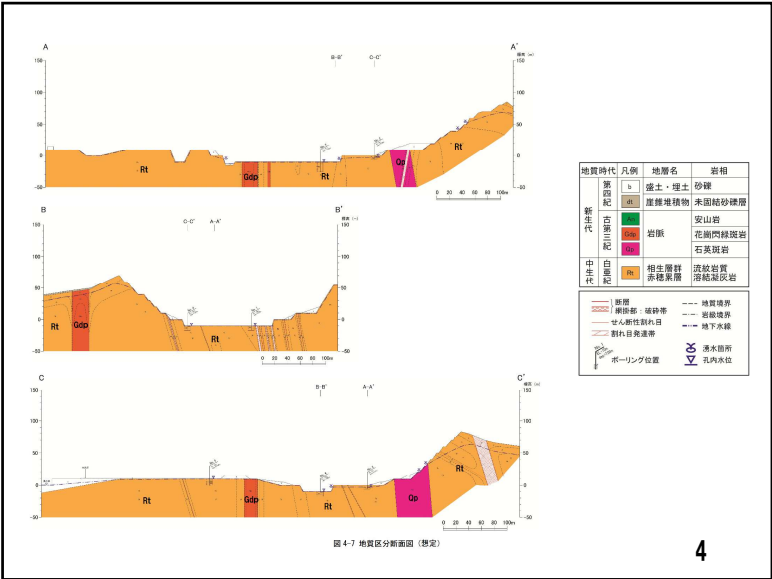
Q1

岩盤の種類と性状に問題ないか？

2



3



4

表 4 岩種区分基準

岩種区分はJGICの基準（ボーリング柱状図作成手順（案）解説書（改訂版）、（財）土木建設情報総合センター、平成11年6月）に準拠した。
具体的には岩の硬軟、割れ目間隔及び割れ目の状態の3要素を組み合わせて判定している。

細区分基準（追記部分はゴシックで示した）

記号	性状
A	硬塊、ハンマーで簡単に割れない。
B	硬、ハンマーで金属音。
C	中硬、ハンマーで容易に割れる。
D	軟、ハンマーで引込索に砕ける。
E	極軟、マサ状、粘土状。

形状区分

記号	性状
I	長さ(割れ目間隔)50cm以上の棒状コア
II	長さ(割れ目間隔)50～15cmの棒状コア
III	長さ(割れ目間隔)15～5cmの棒状～片状コア
IV	長さ(割れ目間隔)5cm以下の片状コアでかつ外端の一部が認められるもの。
V	主として角座状のもの。
VI	主として砂状のもの。
VII	主として粘土状のもの。
VIII	コアの採取ができないもの、スライムを含む。

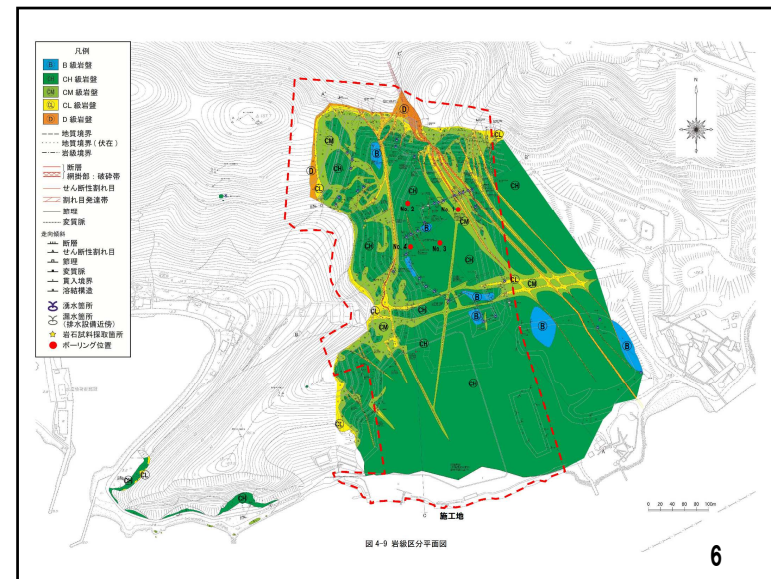
割れ目性状区分

記号	性状
a	密着している、あるいは分離しているが割れ目の性状・変質は認められない。
b	割れ目沿いの性状・変質は認められるが、割片はほとんど風化・変質していない。
c	割れ目沿いの岩片に風化・変質が認められ軟質となっている。
d	割れ目として認識できない角礫状、砂状、粘土状コア。

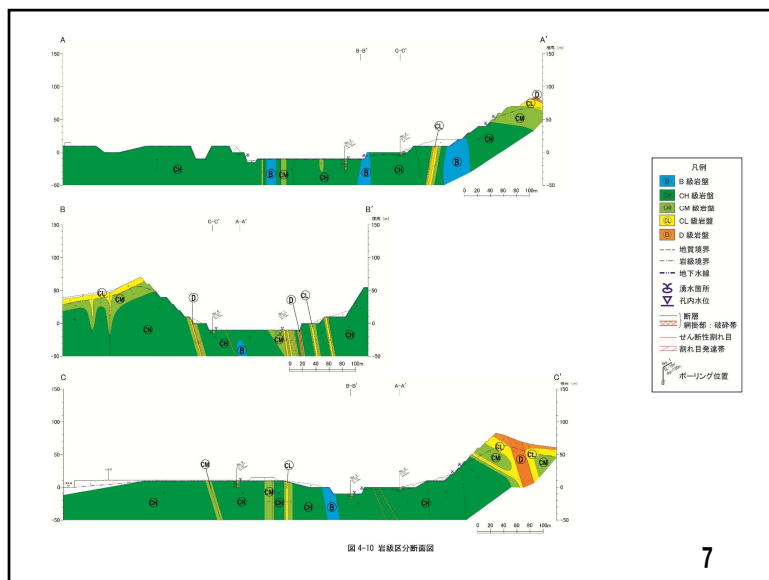
岩種区分判定基準

硬軟区分	形状	割れ目性状	a	b	c	d
A	I	B	CH	-	-	-
	II	CH	CH	-	-	-
	III	-	CH	-	-	-
	IV	-	-	-	-	-
	V	-	-	-	-	-
B	I	CH	CH	-	-	-
	II	CH	CH	-	-	-
	III	CM	CM	CM	-	-
	IV	-	CM	CL	-	-
	V	-	CL	CL	-	-
C	I	-	-	-	-	-
	II	-	-	CM	-	-
	III	-	CM	CL	-	-
	IV	-	CL	CL	CL	-
	V	-	-	CL	D	-
D	I	-	-	D	-	-
	II	-	-	D	D	-
	III	-	-	D	D	-
	IV	-	-	D	D	-
	V	-	-	D	D	-
E	I	-	-	-	-	-
	II	-	-	-	-	-
	III	-	-	-	-	-
	IV	-	-	-	-	-
	V	-	-	-	-	-

5



6

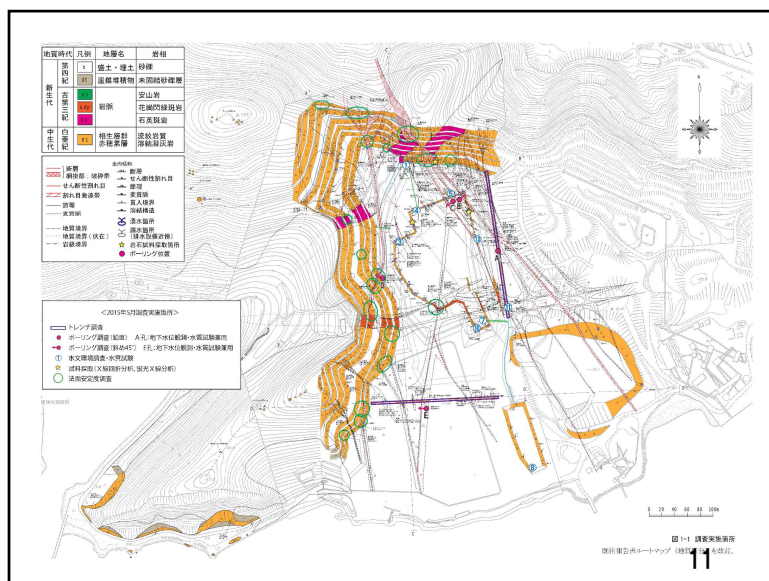
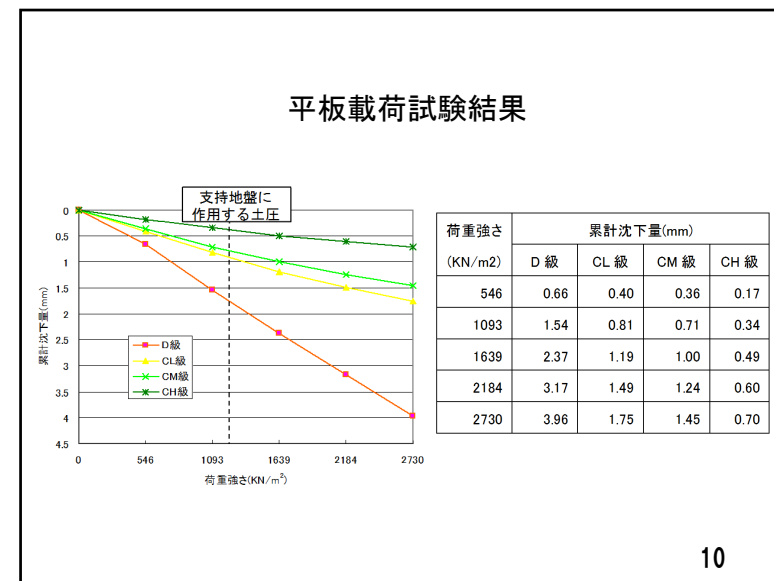
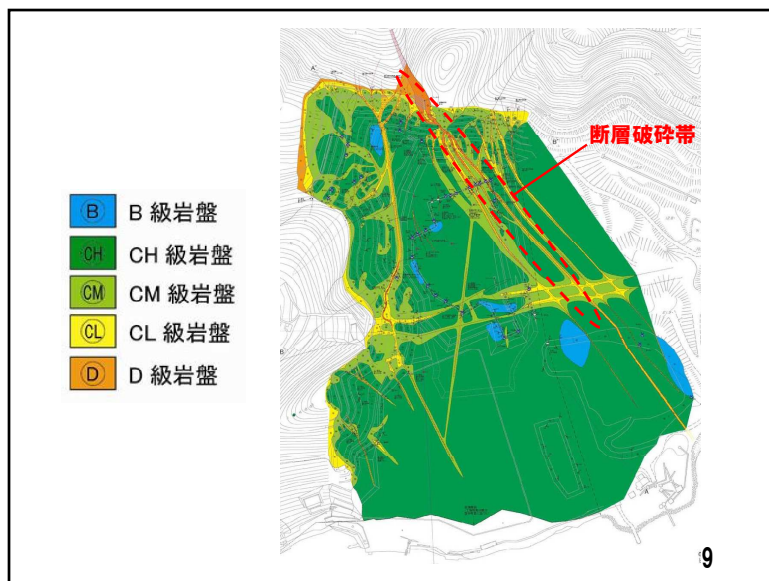


7

Q2

断層破碎帯があるが、不等沈下や水みちにならないか？

8



		透水係数 k (m/s)											
		10 ⁻¹¹	10 ⁻¹⁰	10 ⁻⁹	10 ⁻⁸	10 ⁻⁷	10 ⁻⁶	10 ⁻⁵	10 ⁻⁴	10 ⁻³	10 ⁻²	10 ⁻¹	10 ⁰
透 水 性	実質上不透水	非常に低い			低 い		中 位			高 い			
対応する土の種類	粘性土 {C}	微細砂, シルト, 砂-シルト-粘土混合土 {SF} [S-F] {M}				砂および礫 {GW} {GP} {SW} {SP} {G-M}				清浄な礫 {GW} {GP}			
透水係数を直接測定する方法	特殊な変水位透水試験	変水位透水試験					定水位透水試験			特殊な変水位透水試験			
透水係数を間接的に推定する方法	圧密試験結果から計算				なし			清浄な砂と礫は粒度と間隙比から計算					

12

表 2-3 孔内水回復法による岩盤の透水試験結果

ボーリングNo.	透水係数(k) [m/s]	試験区間水頭(終了時) [G.L.m]
B	2.44×10^{-6}	-0.965
C	6.83×10^{-7}	-1.019
	6.22×10^{-7}	-2.190
D	1.02×10^{-6}	-1.229
E	1.92×10^{-6}	-1.730

13

ボーリング番号	B	C	D	E
地質	流紋岩質 溶結凝灰岩	流紋岩質 溶結凝灰岩	流紋岩質 溶結凝灰岩	流紋岩質 溶結凝灰岩
断層破砕帯 の断層性	CL~D線 切羽に比べ断層性が高く 断層性が高い	CL線 切羽に比べ断層性が高く 断層性が高い	CL線 切羽に比べ断層性が高く 断層性が高い	CL線 断層面に比べ断層性が高く 断層性が高い
斜め45° ボーリン グでの区間長	0.63m	0.93m	0.94m	L=1.39m ① L=0.90m ②
透水係数	断層破砕帯と周辺岩盤 2.44×10^{-7} m/s	断層破砕帯と周辺岩盤 6.22×10^{-7} ~ 6.83×10^{-7} m/s	断層破砕帯と周辺岩盤 1.02×10^{-6} m/s	断層破砕帯と周辺岩盤 1.92×10^{-6} m/s
孔内水位	GL-0.76 m (5/19: 掘削後)	GL-0.70 m (5/18: 掘削後)	GL-1.25 m (5/25: 掘削後)	GL-1.73 m (5/26: 掘削後)
断層破砕帯 の写真 (赤破線で区切 られた範囲)				

14

表 2-2 ボーリング調査結果
Bor. B~Eは斜め 45° 掘削であることに注意。

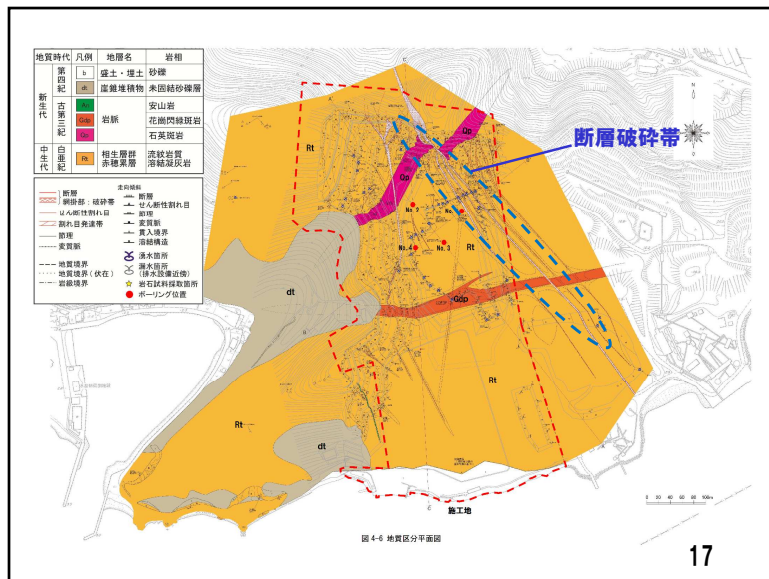
No.	A	B	C	D	E
坑口 標高	EL. 11.0 m	EL. 10.0 m	EL. 10.0 m	EL. 10.0 m	EL. 10.0 m
総掘 進長	21.44 m	12.00 m	12.00 m	9.00 m	15.00 m
掘削 角度	90°	45°	45°	45°	45°
地質	流紋岩質 溶結凝灰岩	流紋岩質 溶結凝灰岩	流紋岩質 溶結凝灰岩	流紋岩質 溶結凝灰岩	流紋岩質 溶結凝灰岩
岩盤	CL~CH線岩盤 (破砕帯部分を除く)	CL~CH線岩盤主体 (破砕帯部分を除く)	CL~CH線岩盤主体 (破砕帯部分を除く)	CL~CH線岩盤主体 (破砕帯部分を除く)	CL~CH線岩盤
孔内 水位	GL-0.86m (5/28: 掘削開始段階) ↓ GL-0.93m (6/2: 掘削後) ↓ GL-1.54m (7/14: 掘削後)	GL-0.75 m (5/19: 掘削後)	GL-0.70 m (5/18: 掘削後)	GL-1.25 m (5/25: 掘削後)	GL-1.73 m (5/26: 掘削後) ↓ GL-1.87m (7/14: 掘削後)
透水 係数	—	断層破砕帯と周辺岩盤 (CL~CH線) 6.83×10^{-7} m/s (L=7.20m~9.40m) 断層破砕帯と周辺岩盤 (CL~CH線) 2.44×10^{-7} m/s (L=6.30m~12.00m)	断層破砕帯と周辺岩盤 (CL~CH線) 6.22×10^{-7} m/s (L=7.20m~13.00m)	断層破砕帯と周辺岩盤 (CL~CH線) 1.02×10^{-6} m/s (L=6.60m~9.90m)	断層破砕帯と周辺岩盤 (CL~CH線) 1.92×10^{-6} m/s (L=7.20m~15.00m)
備考	断層破砕帯: L=8.76m~9.38m 埋土: L=0.00m~1.65m	断層破砕帯: L=8.43m~9.34m 埋土: L=0.00m~1.75m	断層破砕帯: L=7.58m~8.52m	断層破砕帯: (9/9: L=9.93m) L=8.64m~9.93m L=13.95m~14.45m	

15

Q3

断層破砕帯は活断層ではな
いか？

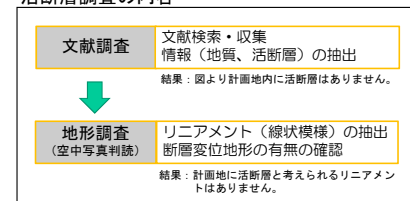
16



活断層について

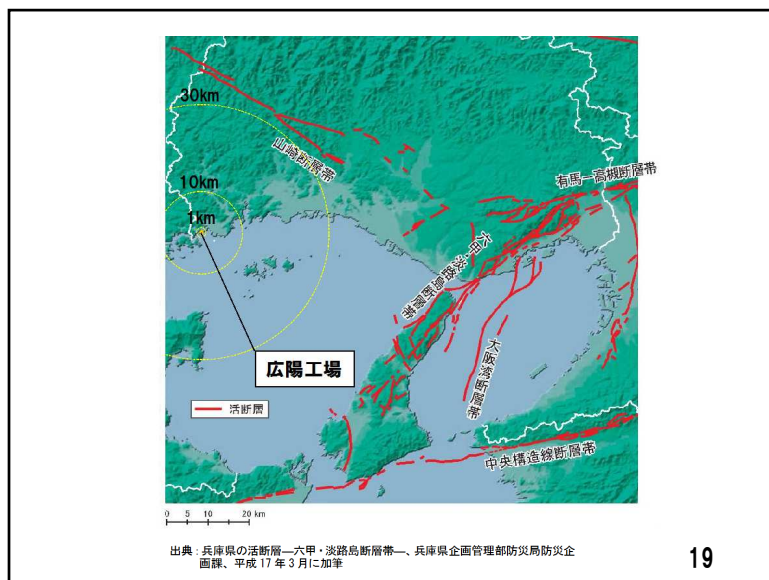
活断層とは、第四紀（258万年前）から現在に至るまで繰り返し活動し、将来も活動することが推定される断層のことです。

活断層調査の内容



・計画地周辺1kmの範囲に**活断層はありません。**

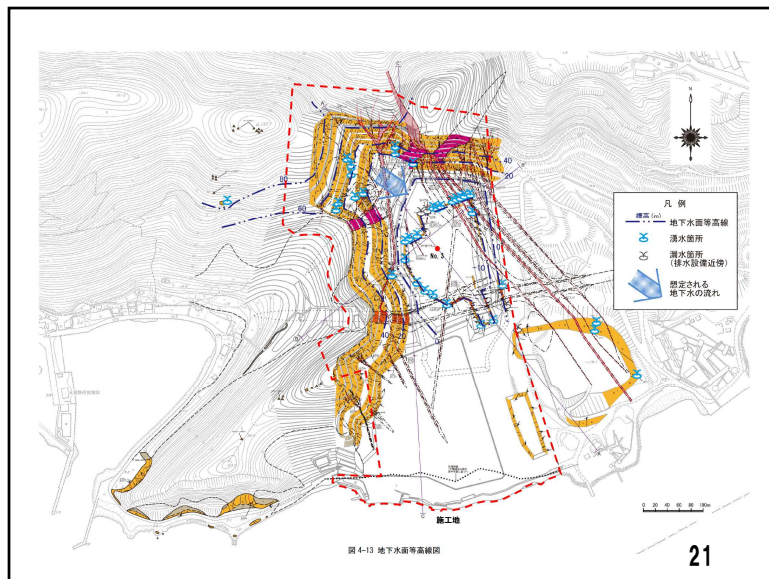
18



Q4

湧水状態のデータがない

20



21

地下水流入量

項目	計測値 (H24.9.30)	過去 25 年間最大 (H24.9.3 姫路)
24 時間降水量	47.24mm	248.00mm
1 時間当たり流入水量	24.30m ³ /h	127.57m ³ /h (換算値)
地下水量	—	0.036m ³ /s

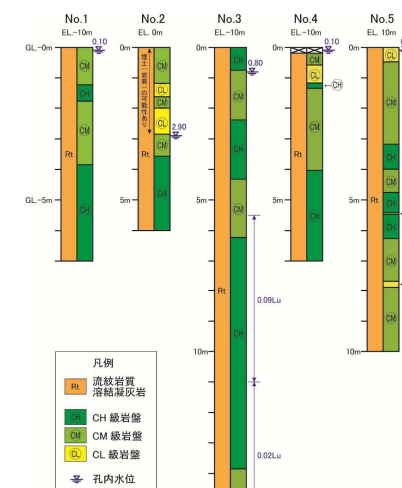
(事業計画書 P11-23から抜粋)

22

Q5

ボーリング調査の結果が提示
されていない

23



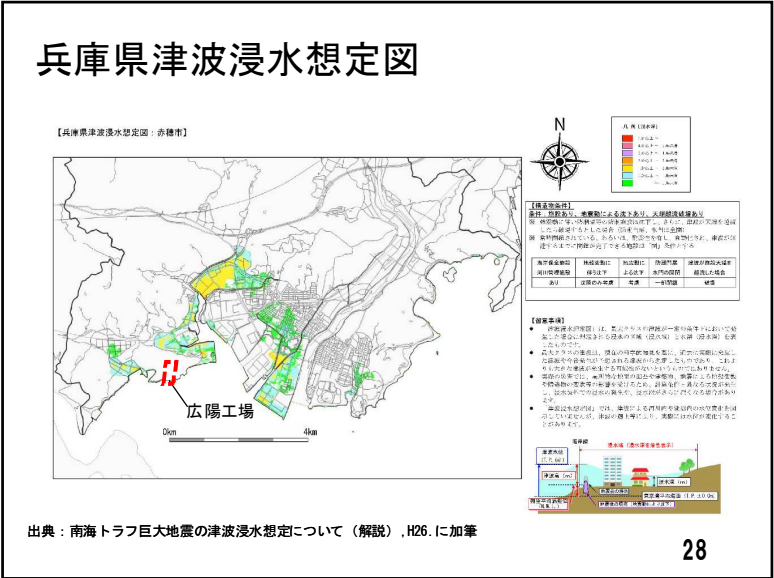
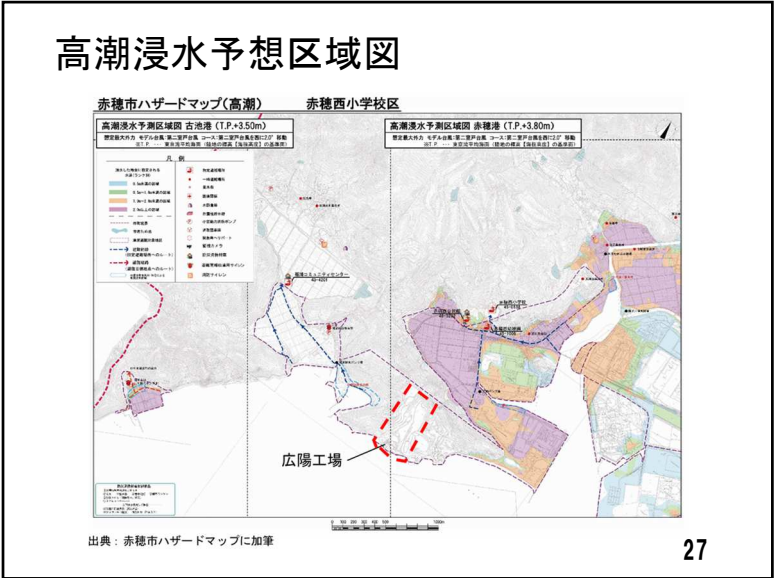
24

表 4-2 ボーリング調査結果

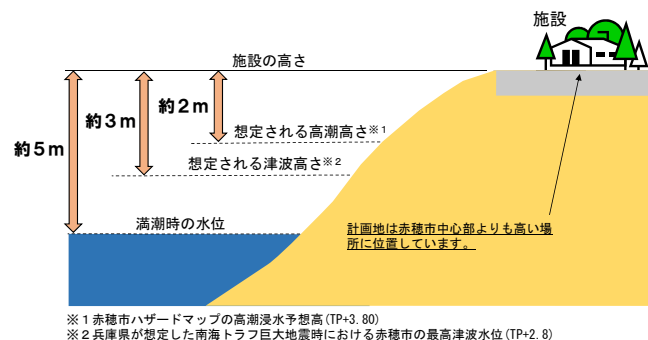
No	1	2	3	4	5
坑口 標高	EL. 10m	EL. 0m	EL. 10m	EL. 10m	EL. 13m
掘削 深さ	7.00m	6.50m	6.00m	7.00m	10.00m
地質	流紋岩質 凝結凝灰岩	流紋岩質 凝結凝灰岩	流紋岩質 凝結凝灰岩	流紋岩質 凝結凝灰岩	流紋岩質 凝結凝灰岩
岩盤	CH~CM 凝灰岩 (表層部)	CH~CM 凝灰岩 (表層部)	CH~CM 凝灰岩 (表層部)	CH~CM 凝灰岩 (表層部)	CH~CM 凝灰岩 主峰
孔内 水位	GL. 0.10m	GL. 2.90m	GL. 0.80m	GL. 0.10m	GL. 0.13m
ルビ オン 量	—	—	0.02~0.06Lu	—	—
備考	表層部 4m は発 露による。人 為的掘削目 を除き、割れ目 は高角。	表層部 3m は発 露による。人 為的掘削目 を除き、割れ目 は高角。	GL. 4.8~6.2m 付近に凝灰岩 質の層が分布。 高角の層が 0.5m 程 厚。また、割れ目 は高角。	表層部 0.2m は埋 土(土留)。 表層部 4m は発 露による。人 為的掘削目 を除き、割れ目 は高角。	表層部 4m は発 露による。人 為的掘削目 を除き、割れ目 は高角。 GL. 5.45m 付近 および GL. 7.8m 付近は、割れ目 が深い。割れ目 は高角。また、 高角の層が 0.5m 程厚(表層部)。

Q6

津波や地震、異常気象(集中豪雨)等への対応はできているのか？

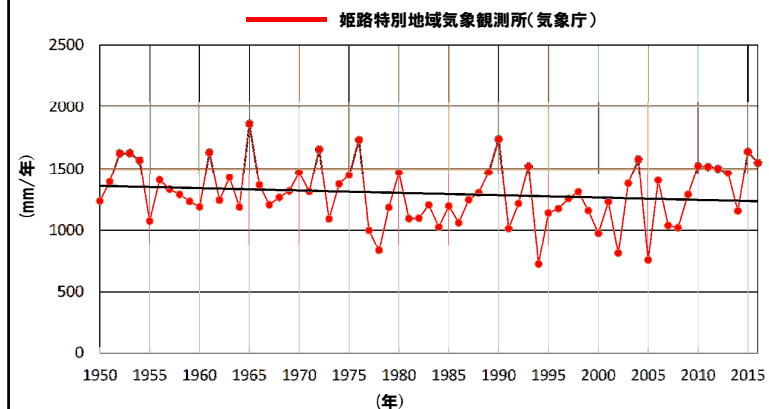


津波・高潮への対策



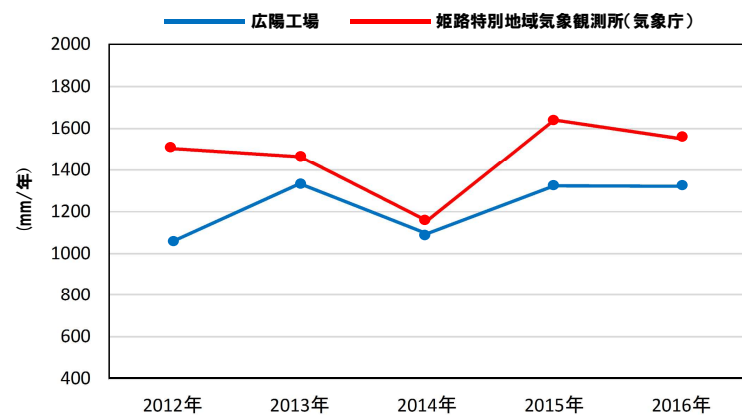
29

降雨量（年間）



30

降雨量（年間）



31

地震への対策

想定した地震動

地震レベル	内容
レベル1 地震動	供用期間内に1～2度発生する確率をもつ地震動強さ。震度は5程度で数10年から100年程度に1回発生すると考えられている。
レベル2 地震動	現在から将来にわたって当該地点で考えられる最大級の地震動強さで、阪神大震災などはこれにあたる。震度は6以上で数100年から1000年程度に1回発生すると考えられている。

32

赤穂市で想定されるレベル2地震動

地震	震度※	備考
海溝型地震	6弱	南海トラフ巨大地震
内陸型地震	6弱	山崎断層帯における地震
直下型地震	6強	赤穂市、相生市、上郡町を震源とする地震
	6弱	たつの市、太子町、佐用町を震源とする地震

※ 赤穂市内における最大震度

出典：兵庫県南海トラフ巨大地震津波被害想定（平成26年6月兵庫県）
兵庫県地震被害想定（内陸型活断層）（兵庫県ホームページ）

33

検討結果

地震レベル	内容
レベル1 地震動	無傷
レベル2 地震動	・盛土法面への影響は軽微で廃棄物の流出はない。
	・遮水シートに損傷はない。 ・浸出水集排水管（中間部）は早急に修復可能な程度の軽微な損傷。

➡ 埋め立て時には盛土の品質管理（密度等）を徹底して行います。

34

非常用電源（例）



35